

腱板断裂

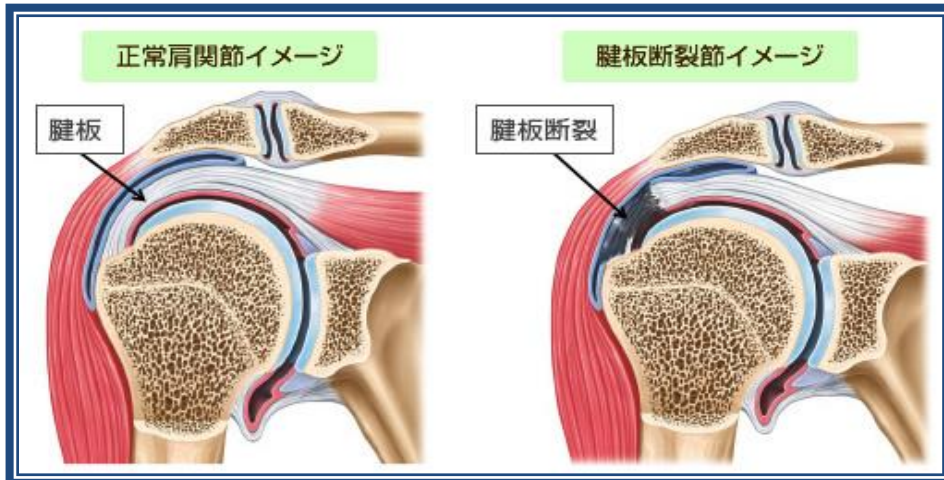
肩関節痛を来す疾患

- ▶五十肩
- ▶石灰沈着性腱板炎
- ▶インピンジメント症候群
- ▶腱板断裂

など

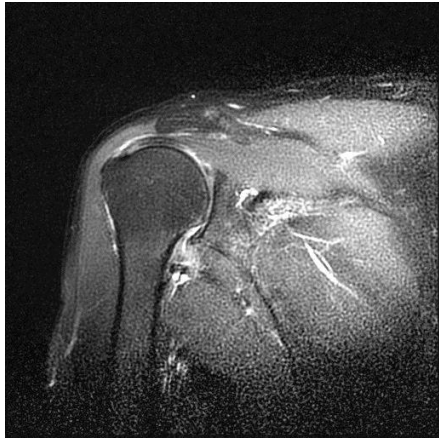
50歳以降に好発します。転倒したり、重いものを持ち上げた時に発症することもあります。特に原因なく発症する場合があります。

腕を上げたり下げたりするときに痛い、腕が挙がらないなどの症状を認めることが多く、夜間痛が特徴的です。肩関節痛を来す疾患はさまざまあり、整形外科にかかっている場合も多いです。

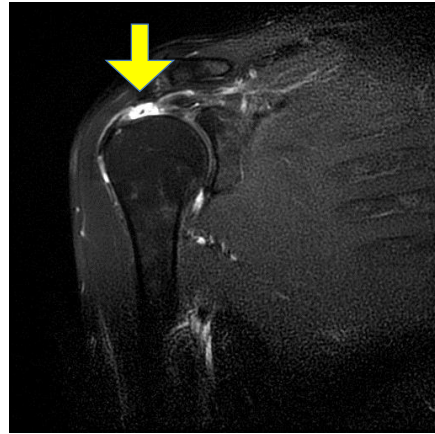


腱板断裂

【正常像】



【腱板断裂MRI】



当院では超音波エコー・MRIなどの検査を行い、腱板断裂の有無を調べます。

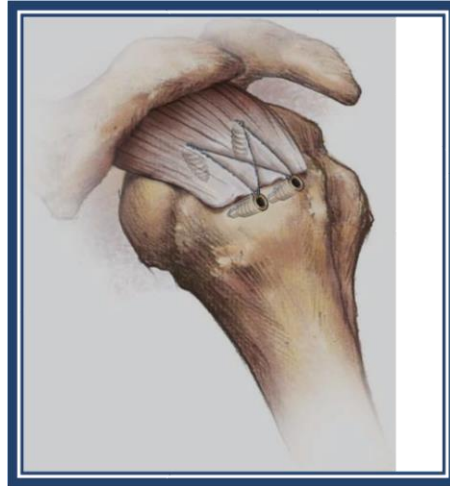
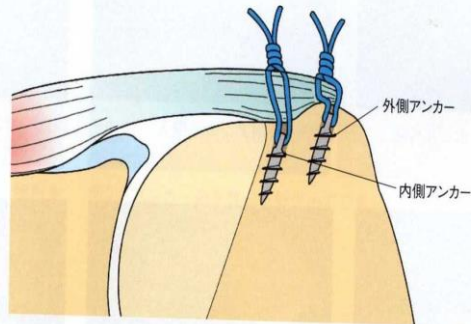
治療はステロイドなどの関節内注射をする場合もありますが、症状が改善しない場合は手術加療を行います。

手術はほとんどの場合が小さな創を数個作るのみで行う関節鏡視下手術を行っています。関節鏡視下手術は低侵襲であり、約1週間で退院が可能です。術後は次の日から可動域訓練をリハビリで行いますが、術後約4週間は着脱可能な装具の装着が必要です。

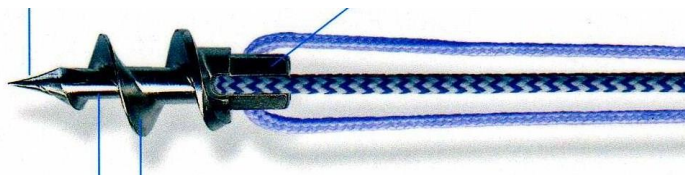
腱板断裂手術の実際

鏡視下腱板縫合術 (ARCR)

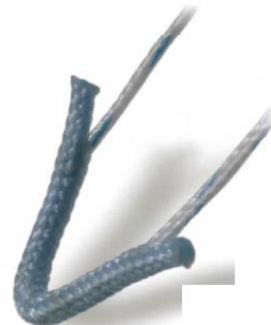
関節鏡視下に手術を行う。
4から5ヶ所に約1cmの切開をする
だけで手術が可能。
アンカーを用いて腱板を上腕骨に縫着する。



【アンカー】 直径: 5mm



13mm



JiggerKnot 1.4mm

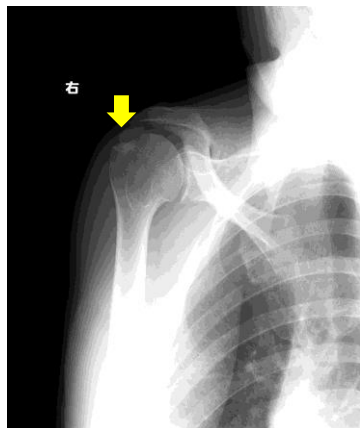
【術後レントゲン像】



骨内にアンカーが3本
挿入されている。

石灰沈着性腱板炎

【症状】突然発症する激的な肩関節痛

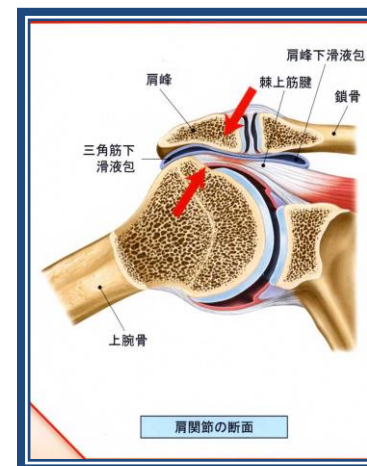
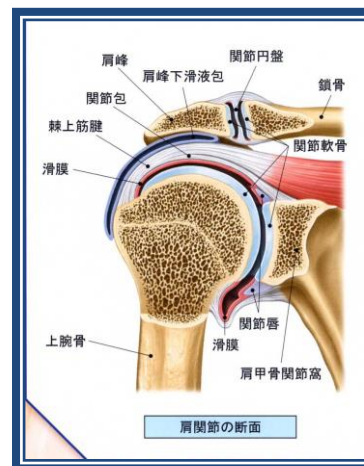


レントゲン上関節内に石灰の沈着を認める

【治療】ステロイドの関節内注射

インピンジメント症候群

【症状】動作時痛(外転・挙上時痛)
夜間痛



インピンジとは英語で『衝突する・ぶつかる』
という意味。
腱板が肩峰にぶつかることにより炎症を来し
疼痛が出る。

【治療】ステロイドの関節内注射
症状が軽快しない場合は手術
肩峰の骨棘を削る。
(鏡視下肩峰下除圧術)